

## ゴールデンウィーク期間中の鳥取砂丘周辺観光入込客数及び渋滞対策の結果について

### 1. 観光入込客数

今年のゴールデンウィークは、コロナ対策が緩和され、好天にも恵まれたことから、鳥取砂丘には県内外から多くの観光客が訪れました。

ゴールデンウィーク期間(9日間)中の入込客数は 170,818人 (前年より 30,804人増) となり、コロナ前の水準近くまで回復する結果となりました。1日あたりの平均入込客数は 18,979人 (前年より 3,422人増)、最も多い入込となったのは5月4日(木祝)で 38,107人 となります。

(観光入込客数の内訳)

【コロナ前】

区分 (期間)	令和5年 4/29~5/7 (9日間)	令和4年 4/29~5/7 (9日間)	平成29年 ※R5と同曜日構成 4/29~5/7 (9日間)
砂丘カウンター	74,551人 (8,283人/日)	81,415人 (9,046人/日)	72,260人 (8,029人/日)
砂丘リフト	24,286人 (2,698人/日)	21,745人 (2,416人/日)	22,528人 (2,503人/日)
砂の美術館	32,832人 (3,648人/日)		43,643人 (4,849人/日)
鳥取砂丘ビジターセンター ※平成30年10月開館	15,034人 (1,670人/日)	13,782人 (1,531人/日)	
フィールドハウス ※令和5年4月開館	3,084人 (343人/日)		
こどもの国	21,031人 (2,337人/日)	23,072人 (2,564人/日)	23,805人 (2,645人/日)
合計	<b>170,818人</b> (18,979人/日)	<b>140,014人</b> (15,557人/日)	<b>162,236人</b> (18,026人/日)

※令和4年の砂の美術館は、展示入替のため、閉館中です。

令和4年の約122%  
コロナ前の同じ曜日構成だった平成29年の約95% (ビジターセンター及びフィールドハウスを除く)

### 2. 渋滞対策の取組結果 (5月3日~5月6日の4日間)

- 砂丘東側では、既存駐車場1,045台に加え、臨時駐車場800台(オアシス広場)を開設。さらに5月4日(木祝)には岩戸臨時駐車場200台を開設。各臨時駐車場から鳥取砂丘を結ぶ臨時バスを運行しました。また、砂丘西側では既存駐車場520台に加え、臨時駐車場200台(旧砂丘パレス、こどもの国キャンプ場)を開設。さらに5月4日(木祝)~5月5日(金祝)には中国運輸局臨時駐車場300台、中央病院臨時駐車場400台を開設し、こどもの国との間を結ぶ臨時バスを運行しました。
- 5/3~5/6の4日間、交通誘導員を1日当たり最大85人、臨時バス等案内スタッフを1日当たり14人配置しました。
- 期間中、国道9号線まで及び渋滞は発生しませんでした。5月4日(木祝)13:00に最大1,500m程度(砂丘入口交差点から砂丘トンネル先まで)の渋滞が発生しましたが、交通誘導員等の迅速な対応により、市民生活への影響は最小限となりました。
- 国や県等と連携し、看板の設置やホームページ、ツイッターによる情報発信を行いました。
- 新型コロナウイルス感染防止対策として、マスクの着用や車内の消毒、乗車人数の低減等を行いました。